

【別表：適切な感染防止対策例】

※以下に掲げる対策例以外にも、それぞれの施設の状況や営業の形態等に応じ、適切な感染防止のための対策を実践してください。

適切な感染防止対策例	
発熱者等の施設への入場防止	❖ 来訪者、従業員の検温・体調確認を行い、発熱等の症状がある者や体調不良の者の入場制限（来訪者）、出勤停止（従業員）を行う。
	❖ 発熱等の症状がある者は、イベントの参加や施設の利用を控える。
接触確認アプリの利用	❖ 来訪者は、接触確認アプリのインストールをし、事業者はそれを促す。
	❖ 事業者は、来訪者の連絡先等を把握する。 （イベント開催の際には徹底すること。）
3つの「密」（密閉・密集・密接）の防止	❖ 店舗利用者の入場制限、滞在時間の制限を設ける。
	❖ 十分な座席間隔（四方を開けた席配置等）を確保する。
	❖ 入退出時、休憩場所、待合場所等での3密の環境を避ける。
	❖ 換気を行う。 （可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける。）
	❖ 密集する会議の中止。 （対面の会議を避け、電話会議やビデオ会議を利用する。）
飛沫感染、接触感染の防止	❖ 来訪者、従業員のマスク着用（熱中症等対策が必要な場合を除く）、手指消毒、咳エチケット、手洗いの励行を行う。
	❖ 対面機会の削減（または、ビニールカーテン等の設置）を行う。
	❖ 大声での会話が発生しない環境作り（利用者への呼びかけ、音量を必要最小限に設定等）をする。
	❖ 店舗・事務所内の定期的な消毒、キャッシュレスの利用を行う。
移動時の感染防止	❖ ラッシュ対策をする。 （時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による出勤の推進）
	❖ 従業員数の出勤数の制限をする。 （テレワーク等による在宅勤務の実施等）
	❖ 出張の中止（電話会議やビデオ会議などを活用）、来訪者数の制限をする。
	❖ イベント参加（開催）にあたっては、移動中や移動先での感染防止のための行動を取るよう呼び掛ける。 ※イベントスタッフにも同様に呼び掛ける。

国が示す「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ☐ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- ☐ 会話をする際には、可能な限り真正面を避ける。
- ☐ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合には、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
- ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- ☐ 手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）
- ※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理を厳重にする。

移動に関する感染対策

- ☐ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ☐ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ☐ 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- ☐ まめに手洗い・手指消毒 ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気（エアコン併用で室内を28℃以下に） ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- ☐ 通販も利用
- ☐ 1人または少人数ですいた時間に
- ☐ 電子決済の利用
- ☐ 計画を立てて素早く済ます
- ☐ サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ☐ レジに並ぶときは、前後にスペース

食 事

- ☐ 持ち帰りや出前、デリバリーも
- ☐ 屋外空間で気持ちよく
- ☐ 大皿は避けて、料理は個々に
- ☐ 対面ではなく横並びで座ろう
- ☐ 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ☐ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

娯楽、スポーツ等

- ☐ 公園すいた時間、場所を選ぶ
- ☐ 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を、もしくは自宅で動画を活用
- ☐ ジョギングは少人数で
- ☐ すれ違うときは距離をとるマナー
- ☐ 予約制を利用してゆったりと
- ☐ 部屋での長居は無用
- ☐ 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- ☐ 会話は控えめに
- ☐ 混んでいる時間帯は避けて
- ☐ 徒歩や自転車利用も併用する

イベント等への参加

- ☐ 接触確認アプリの活用を
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- ☐ テレワークやローテーション勤務 ☐ 時差通勤でゆったりと ☐ オフィスはひろびろと
- ☐ 会議はオンライン ☐ 対面での打合わせは換気とマスク

※業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

